

# 「SSTR(サンライズ サンセット ツーリング ラリー) 2021」の運営サポート活動

団体名●池田ゼミナール／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019を前にして、我が国における積極的なスポーツ振興実現をめざし、スポーツに関する施策を総合的に推進するために2015年10月1日に文部科学省の外局としてスポーツ庁が設置された。そして、全国的に各地の地域環境を活かしたスポーツツーリズム策が検討、実施されている。石川県では、羽咋市および宝達志水町にかけての「千里浜海岸」において、その美しい夕日の光景と海岸を車両が通行可能という海岸特性を活かして、「SSTR(サンライズ サンセット ツーリング ラリー)」が実施されている。今回で第9回目となる「SSTR 2021」本年度は、全国の全ての都道府県より約8,500台の参加エントリーがあり、池田ゼミナール学生17名もモータースポーツツーリズム推進の視点から運営スタッフとして参画した。

## 活動内容

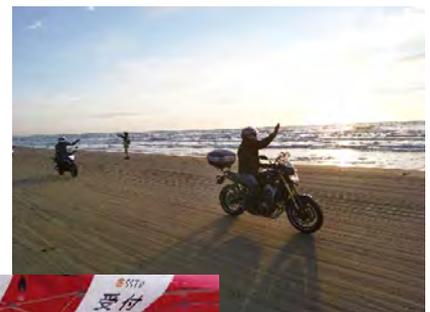
昨年度と同様、本年度も新型コロナウイルス感染拡大により、地域社会での様々な活動が中止または規制されている状況の下で、「SSTR 2021」が分散開催された。本事業には、スポーツ庁、観光庁、石川県に加え、羽咋市など10市町、複数法人が後援であり、また、大塚製薬株式会社、本田技研工業株式会社、スズキ株式会社、他、50以上のモータースポーツ関連企業や各種団体が協賛、協力している日本最大規模のモータースポーツイベントであり、羽咋市「千里浜海岸」のゴール地点のみならず、全国からのライダーが奥能登全体にツーリング延長しており、その地域への関係人口促進への期待は大きい。

学生たちの具体的な活動については、以下の日程で会場設営、受付、誘導、新型コロナウイルス感染防止対応、後片付け等、多岐にわたっている。

●日時：①10/02(土)、②10/09(土)、③10/16(土)、④10/17(日)の各現地9:00～19:00

●場所：石川県羽咋市「千里浜レストハウス」周辺海岸の特設会場

●活動内容：「SSTR2021」での運営(役割分担：会場設営、ライダーの誘導、ライダーの新型コロナウイルス感染チェック、受付、記念品梱包・受け渡し、後片付け、他)



全国からゴールをめざすライダーたちの様子

受付担当のゼミ学生の様子

## 成果、結果の考察

学生たちが全国規模のモータースポーツイベントに直接、運営参画することで、その運営方法について実践的に学ぶことができ、主催者、行政、地域関係者との交流、協働活動を通して、コミュニケーションスキルや想像力、判断力、主体的実践力等を向上させたものと考えられる。また、自然(海)と道具・技術(モーターバイク)の一見、相反する2つの調和を実感し、その共通に「人」がいることも感じたことと推測できる。

## 今後の課題、展望

残念ながら新型コロナウイルス感染防止上、活動が制限状況であった。来年度も5月、10月に実施される予定であり、学生の学びとサポートの輪が更に広がることが望まれる。